

留学報告書～韓国・漢城大学～

札幌校 言語社会教育専攻 2年 阿部広奈

留学先：韓国 漢城大学校

1. はじめに

私は英語教育専攻で、大学入学当初は、英語圏での交換留学を考えていました。しかし、私が交換留学をするにあたり、韓国を選んだ理由は、2つあります。1つ目は、私が昨年北海道教育大学の短期留学プログラムである、カナダ・カルガリー大学での教育研修に参加するため、カナダで1か月間の教育研修を行った際、カナダは多民族国家と言われるように、様々な民族が在住し、移民も多く、日本とは全く異なった環境でした。その中で学んでいく中で、中でも、日本語を学ぶ学生たちと関わる機会が多くあり、その学生たちは、その民族の母語に加え、カナダの公用語である英語、それに加えて、日本語を学んでいました。その様子を見て、私は、英語は共通のツールであり、英語、そして母語の他に、他の国の言語を学び、その言語を学ぶことを通して、その国の文化などを学ぶことが、現在の‘グローバル化された社会’で生きる私たちに求められていくことなのではないかと強く感じました。そこで、私は、文化や言語に少し興味のあった韓国語を選び、韓国で韓国語を学びながら、似ているようで異なる、隣国の文化を学びたいと考え、韓国の漢城大学校で学ぶことを決めました。

2. 漢城大学校での生活

私は秋学期、冬学期の語学コースでの留学でしたので、語学堂と呼ばれる、韓国語を母語としない外国人たちが通う韓国語学校に通い、9：00ー13：00まで韓国語を学習しました。そこでは、TOPIK1級から6級までのレベル別にクラス分けがされており、テストに合格すると、進級していくというシステムでした。テストは1か月に1回行われ、中間テスト、期末テストの2回がありました。

また、語学堂では、韓国語の授業だけではなく、文化授業と呼ばれる、韓国の文化を体験できる授業も多数あり、その機会を通じて、私は、ハングル博物館へ行き、ハングルの歴史について学ぶことや、全州への日帰り旅行、キンパとよばれる韓国式海苔巻きをつくる体験などをしました。



【全州での文化授業の際の写真】(右)

また、私たちの学期から語学堂の他に、学部の授業を3つ取ることができるようになったのですが、私は韓国に来て、初めて韓国語を習い、1級のレベルからのスタートでしたので、学部の授業は1つだけ取ることになりました。この授業では、教授のおっしゃっていることはほとんど理解できず、とても大変でしたが、この授業で日本に興味をもって、話しかけてくれる学生もいて、この授業を通して、韓国人の友達をつくることができ、授業が終わってからも、その友人たちがソウル市内を案内してくれるなどしてくれました。

3. 日常生活

学部の授業は基本夜間の授業を取ることになり、その学部の授業がない日は、語学堂が午前中に終わるので、そこからソウル市内を観光しに出かけるか、または、寄宿舍で授業の予習、復習をして過ごしました。秋学期と冬学期の語学堂の休みの期間も1か月ほどあるため、釜山の方に旅行に出かけるなど、普段学校がある期間にはできないこともする時間があり、充実した日々を過ごすことができました。

また、私は学校寮で暮らしていました。1部屋に日本人5人ほどで、共に過ごしていましたが、設備も良く、一か月の家賃は2万円ほどでした。



【韓服を着た際の写真】

4. おわりに

私は、この留学の前に、韓国語を上達させること、また、韓国での生活を通じて、アジアの隣国の一つである韓国の文化を知ることがを目標、目的として出国しました。今、この留学を終え、自分の留学生活を振り返り、悔いは残っていません。韓国語の勉強も楽しみながら、毎日継続してすることができただけでなく、ゼロからのスタートで韓国語という一つの言語を使って、友人と意思疎通を図ることができるようになるまで、上達することができたことを自分自身嬉しく思います。そして、これからの大学生活の目標も出来、これからの2年間就職に向けて、ますます勉学に勤しもうと考えました。

この私の報告書が今現在、留学に関して悩んでいる方や韓国での留学が決まった方の手助けに少しでもなれば幸いです。

私の留学生活は、様々な方の助けがあって、このような充実した生活を送ることが出来ました。本当にありがとうございました。